

仙台高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	インターンシップ	
科目基礎情報							
科目番号	0040			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械・エネルギーコース			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	なし						
担当教員	渡辺 隆,永弘 進一郎						
到達目標							
校外実習を通して、企業の生産現場や研究施設での体験による実践的知識・技術を習得し、座学との相違を知ること。また、将来の進路を決定するときの判断材料を得ること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	企業の生産現場や研究施設での体験による実践的知識・技術を習得し、座学との相違が十分に理解できる。			企業の生産現場や研究施設での体験による実践的知識・技術を習得し、座学との相違が理解できる。		企業の生産現場や研究施設での体験による実践的知識・技術を習得し、座学との相違が理解できない	
評価項目2	将来の進路を決定するときの判断材料を十分に得ることが出来る			将来の進路を決定するときの判断材料を得ることが出来る		将来の進路を決定するときの判断材料を得ることが出来ない	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 1 機械工学、電気工学、材料工学の分野にわたるエネルギーシステムに関する体系的な知識と技術を身に付ける 学習・教育到達度目標 2 要素技術や融合・複合システムの設計・分析・評価等の基盤技術を身に付ける 学習・教育到達度目標 3 エネルギー技術と工学の視点に立った論理的かつ実践的思考能力を身に付ける 学習・教育到達度目標 4 エネルギー技術と工学の社会的な役割を理解し、技術的課題を解決できる能力を身に付ける JABEE B2 技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者として責任を持って行動できる能力 JABEE C1 日本語により、記述・発表・討論する能力 JABEE E1 自主的・継続的に新しい工業技術を学習する能力 学士区分 1 機械系 選択科目 12 機械系 学士区分 2 電気系 選択科目 22 電気系							
教育方法等							
概要	企業等での生産現場や研究部門等で1～2週間程度の実習を行う。						
授業の進め方・方法	企業等の職場を見聞し、工学の技術的な応用の実際を習得し、将来の技術者としての意識を高揚する。夏期休業明けに実習の証明書・報告書・日誌等を提出し、実習報告会において実習成果を報告する。 事前（実習前）に、インターンシップ先の基本情報については調査しておくこと。また、実習後は、インターンシップで自分が経験したことの意味を考え、今後に活かすこと。						
注意点	企業においては貴重な時間と経費をかけて指導いただくので、礼節、感謝の気持ちを欠かさぬよう心がけること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1.実習先希望調べ		(1)受入企業等の情報が随時担任に届くので、担任との連絡をみつにして、受け入れ企業の希望条件を調査すること。		
		2週	2.実習先の決定		(2)自分が選択する業種・職種を担任に明確に伝えること。ただし、受け入れ企業数が希望者数を下回ることもあるので、選択できない場合がある。		
		3週	3.実習心得ガイダンス		(3)受け入れ企業が提示する条件に応じて遅滞なく必要書類を準備し、担任を通して申し込むこと。		
		4週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験		(4)実習期間中は実習日誌をつけること。実習日誌は実習終了後提出する。		
		5週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		6週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		7週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		8週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
	2ndQ	9週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		10週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		11週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		12週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		13週	4.企業の生産現場や研究施設での実習体験				
		14週	5. 実習報告書、実習報告会発表要旨の作成		(5)実習内容を詳細に実習報告書としてまとめる。ただし、企業における守秘義務は厳守する。		

		15週	5. 実習報告書、実習報告会発表要旨の作成			(6)実習報告会では、実習先企業の概要、実習の内容、感想を手際よく発表する。		
		16週	6. 実習報告会					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	実習先の評価	報告書	発表会	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	80	10	10	0	0	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	80	10	10	0	0	0	100	